令和７年度 自動車交通環境実態調査測定記録表

（別紙４）

（令和　　年　　月　　日実施）

道路名				用途地域		測定者	
マイクロホンの位置	地上　　m、　車道端から　　m、道路敷地境界から　　m方向			主音源		舗装種別	
住居等からの距離	m	反射音補正の有無		道路構造		車線数		遮音壁の有無	

時間帯	観測時間	騒音実測時間区分		等価騒音レベル (dB(A)) L_{Aeq}	時間率騒音レベル(dB(A))						除外音による欠測の有無	基準時間帯平均騒音レベル(dB(A))		交通量観測時間(分)	実測時間内交通量（台）										平均走行速度(km／時)		平均走行速度観測台数(台)	
															上り					下り								
		開始時刻	終了時刻		L_{A5}	L_{A10}	L_{A30}	L_{A50}	L_{A65}	L_{max}		L_{Aeq}	L_{A50}		大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型	二輪	計	大型Ⅰ	大型Ⅱ	小型	二輪	計	上り	下り	上り	下り
昼間	6~7	:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		観測時間平均																										
	7~8	:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		観測時間平均																										
	……	(8~21時：略)																										
	21~22	:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		観測時間平均																										
夜間	22~23	:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		観測時間平均																										
	……	(23~5時：略)																										
	5~6	:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		:	:																									
		観測時間平均																										

（注）１．観測時間平均値は、除外音の影響による欠測時間区分のデータを除いた有効データにより、等価騒音レベルはエネルギー平均、時間率騒音レベルは算術平均により求める。
２．基準時間帯平均騒音レベルは、有効な観測時間平均値から、等価騒音レベルはエネルギー平均、時間率騒音レベルは算術平均により求める。
３．車種区分については、観測時に区分した車種区分に合わせて項目を設ける。交通量及び走行速度観測結果は、観測した実測時間区分の欄に記入する（すべての欄に記入する必要は無い）。
４．高架道路併設街路等の複数面の道路においては、同様の様式により、交通量及び速度を道路構造別にまとめる。